

《**新型コロナ関連**》

県内において福祉施設のクラスターが発生しました。改めて各施設での感染予防対策が求められます。コロナ禍において、その疲れもあり気の緩みが原因で予防対策がおろそかにならないようにしたいものです。再度、基本的なこと、マスク着用・手洗い・換気などに努めていきましょう。

《**令和3年度介護保険改正**》

事業者にとって、介護保険改定の関心毎の給付単価や加算等ですが、次期改定に大きな変化は見られません。給付事業の拡大といった視点から舵が切られ、介護保険の持続可能性やそのための周辺環境の改定といったところが主な内容でしょうか。①地域包括ケアシステムの推進、②自立支援・重度化防止の推進、③介護人材の確保・介護現場の革新、④制度の安定性・持続可能性の確保など、30年度改正の更なる深化といった内容です。

地域において「医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に」という地域包括ケアシステムの御旗がありますが、この役割が果たせる地域の体制を創っていこうというものです。これは、これまでの在宅サービスや施設サービスの充実だけでは不十分と言い換えることもできます。給付事業以外に何を地域に提供できるか問われています。

変化の兆しの一つとして、要介護認定者が総合事業を利用できるようになること、これは時期改定の最も大きな変化でしょう。総合事業対象者はこれまでチェックリスト該当者や要支援者に限定されていましたが解禁されることとなります。軽度者（要介護1とか2など）は給付事業から市町村事業に向かう力が強くなっていくのは避けられないでしょう。全国では実践も少しずつ増えていることもあり、これらの変化を見逃さず事業者として用意していきたいものです。（事務局）

## 【佐賀県地域共生ステーション連絡会】

---



### ■10月3日(土)10:00 第2回資質アップ研修

演題「介護保険における要介護者の介護・生活支援にどう向き合うか～10年後を見据えた介護事業者の取組み～」

講師:石山裕子氏(現:大川市健康高齢者支援係／元厚生労働省老健局振興課地域包括ケア推進係)

ZOOMを使用したオンライン研修を開催します。郵送やメール等でお知らせしています。お申込みされた方には資料を郵送していますが、入室はどなたでもできますので、時間前に入室ください。

Zoom ミーティングに参加する

<https://zoom.us/j/96179976260?pwd=M2o2MkE0aTBaNW5TMUdJYUs3NF1QZz09>

ミーティング ID: 961 7997 6260

パスコード: 298260

## ■新型コロナウイルス対応緊急支援助成 助成内定しました!!

8月末、休眠預金を財源とする新型コロナウイルス対応緊急支援助成（資金分配団体は佐賀未来創造基金）の申請を実施していましたが、9月に審査を経て採択されています。コロナの2波3波も予測されることから、地域共生ステーションの活動を止めないために、連絡会全体でオンライン環境を整えることを第1ステージとし、連絡会会員向けにPCやタブレット、インターネット環境やWi-Fi環境など、オンライン導入などを進めるためのものです。概算で環境整備に500万、その運用費用（委託費）500万といったものです。事業実施期間は10月から翌年9月までの単年度事業です。詳細については決まり次第お知らせいたします。

## ■連絡会受託の佐賀県委託事業の名称が変わります(令和2年度から)

7月に委託事業の見直しについて求められMMで報告していますが、委託事業である「佐賀県地域共生ステーション開設等支援事業」の名称について、すでに10月になりましたが「佐賀県地域共生ステーション地域支え合い推進事業（200万）」という名称が変わります。

共生社会の実現は全国的な流れですが、佐賀県は介護保険開始同時期に、地域共生を強く打ち出してきました。介護保険に通いや訪問など多様な主体が参画できる総合事業が入り、給付事業と合わせ、今後、介護や生活の分野に、住民や企業と協働した新しい支援の仕組みやサービスが広がっていきます。これからの団塊世代・団塊ジュニア世代の高齢期の多様なニーズに応じるために、新しい支援のあり方として、介護保険の法改正に基づき地域を巻き込んだ事業展開が必要になることから、事業の名称も変更されています。開設等支援事業では地域の拠点づくりとしての後押しでしたが、今後はその中身づくりということになります。新しい名称になり、地域共生ステーションが地域を巻き込んだ取り組みを実施することで、多くの介護事業者の牽引役となっていきましょう。

## ■手指消毒剤の情報 ウェルパスマイルドアルコール除菌剤

「NPO法人ほのか宅幼老所さくらさくら」さんからの情報提供です。

### ★商品の特徴★

病院でおなじみのアルコール手指消毒剤ウェルパスに保湿成分を配合。

コロナウイルス対策、インフルエンザ感染対策に介護施設や一般家庭に最適。

- 1、 アルコール殺菌剤の働きで高い消毒効果を発揮します。
- 2、 手にとって擦り込むだけで、すばやく簡単に消毒ができます。
- 3、 保湿剤を配合していますので、手にやさしいタイプです。
- 4、 軽量でコンパクトにできる減容ボトルを使用しているため、ゴミ容量が削減できます。

### ★仕様★

サイズ約：底面/6.5×6.5 cm 高さ/19.0 cm

成分：エタノール（アルコール）、塩化ベンザルコニウム（殺菌剤）、プロピレングリコール（保湿剤）、グリセリン（保湿剤）

価格 1,870円（500ml）（税込） 専用ポンプ 価格 220円

お求めの方は 090-8839-8080 (松尾) FAX 0954-42-3353

写真 : <https://www.duskin.jp/item/sanitation/dc000850/>

## ■第1回資質アップ研修後の外国人受け入れの状況(ホットラインさんから)

2事業所の4名が内定されました。研修直前の申込と合わせれば、資質アップ研修後8名の内定となります。外国人雇用の研修については、再度オンラインで実施したいと思っておりますので、前回参加できなかった方は是非、オンラインからご入室ください。時期は後日お知らせいたします。

## ■地域共生ステーションの独自の取り組みをパンフレットに取り組みを掲載しませんか。

会員の皆様、佐賀県、市町の地域共生ステーションに、取組事例を掲載した新しいパンフレットを送付しています。ある自治体からは要望があり再度数冊送付しています。今後特に軽度者の支援は、介護保険財源である介護予防・日常生活支援総合事業にシフトしていくことをイメージしていただき、無理のないできる範囲で、各々の地域共生ステーションを拠点に、地域づくりの多様な支援づくりに参画ください。取り組みを掲載したいという方は、パンフレットの最終頁にフォーマットをつけていますので、事務局までお問合せください。

## ■地域共生ステーションアドバイザー事業について(変更)

30件程度の訪問が予定されていましたが、コロナ禍により具体的な日程は未定ですが、コロナ禍の状況、佐賀県の意向など踏まえながら検討してまいります。世話人皆様や会員の皆様に佐賀県とのご同行をお願い致しますので、その際はご協力をお願い致します。

## ■佐賀県が位置づける「ぬくもいホーム」とは

佐賀県では、登録のあった「宅老所」及び「ぬくもいホーム」を総称して地域共生ステーションとし、地域福祉づくりの拠点として佐賀県独自の施策として支援しています。「ぬくもいホーム」とは、高齢者事業に加え、子どもや障がい児者等を受け入れたり(共生)、又はその他の多様な地域に密着した生活支援(家事支援・移動・配食・居場所等)を展開するといった施設で、各々の施設の名称に関わらず、佐賀県がその機能により選別した独自の呼称のことをいいます。ワンストップの地域の中の困り事に応じられる、色んな支援ができる施設づくりはこれからの流れになっていきます。是非、「ぬくもいホーム」を目指していきましょう。

## ■市民福祉団体全国協議会 佐賀支部が開設されています

佐賀県は、地域活性化を目的に、各分野で活躍するCSO(市民社会組織)を誘致しています。その取り組みの9団体目として、認定NPO法人市民福祉団体全国協議会佐賀支部をこの度誘致し、4月1日から開設されています。3月19日に、佐賀県知事・佐賀未来創造基金(山田健一郎理事長)と進出協定が結ばれています。※市民協ホームページ <http://seniornet.ne.jp/>

## ■協議体(話し合いの場)に参加しましょう!!

地域共生ステーションの皆様は、地域に密着した事業展開を進めておられるところも多いと思います。介護保険の中でも、地域を意識した取り組みが重要視される施策へと変化しつつあります。2025年以降、爆発的に増えると思込まれる生活支援や軽度者の支援に対応できる事業所づくりを今から始めていきましょう。

協議体は県内で少しずつできていきますので、地域共生ステーションが各々の地域の資源になるためにも、積極的な参加をお勧めいたします。

## ■ブロック・会員活動・連絡会以外の地域イベント情報等

※各地域共生ステーションやそれ以外の地域の情報をMMで配信しますので、メールでの情報提供にご協力ください。(fukusinoie@world.ocn.ne.jpまで)

### 中部ブロック (佐賀市・小城市・多久市・神埼市・江北町・大町町)

9/24 オンライン会議が実施されています。6団体が集まりました。

### 西部ブロック (武雄市・鹿島市・嬉野市・白石町・太良町)

10/12 地域共生ステーション担い手養成事業「介護保険給付外サービス研修」  
テーマ「介護保険制度等を活用した高齢者の移動支援・送迎の勉強会」  
場 所「嬉野市コミュニティーセンター南風館」  
日 程 10/12 (月) 18:30~20:30

### 北部ブロック (唐津市・伊万里市・有田町)

### 東部ブロック (鳥栖市・みやき町・吉野ヶ里町・上峰町・基山町)

ブロック代表の皆さま、情報提供にご協力ください。

.....

## 【さが福祉移動サービス・ネットワーク】

## ■シルバー人材センター受託 福祉車両送迎運転者講習会

- ・10月6日、7日 佐賀市文化会館 (10名決定)
- ・11月17日、18日 武雄市勤労者福祉会館

上記日程で開催予定です。受講者は各10名程度。これまで福祉有償運送講習として実施してきましたが、福祉車両送迎運転者講習会となりました。お申込み受付は、佐賀県シルバー人材センター連合会になっています。

## ■開催未定

## 国土交通大臣認定 移動サービス認定運転者講習

福祉有償運送資格取得の講習会です。福祉有償運送事業、4条ぶらさがり許可の訪問介護事業所など受講ください。その他福祉施設等で送迎にあられる方や、道路運送法の登録又は許可不要の活動をされている非営利組織などの移動サービス中の安全運行の講習としても推奨されています。

#### ■受講条件

- ・県内在住で県内の事業所で活動予定の方
- ・受講者本人が過去2週間において受講当日までに、①咳・発熱・腹痛・嘔吐等の症状  
②感染拡大地域での飲食外、③海外からの帰国、④家族や親近者等に①～④がない等自認できる方

■会 場 鍋島シェストビル1F

■受講費 会員 10,000 円 非会員 15,000 円

#### ※開催方法

- ・受講者はマスク持参・着用の上、会場は3密を排除した形式で実施します。
- ・休み時間毎に換気します。
- ・手指洗淨、消毒をお願いします。

申込書ダウンロード

<http://www.fukushinoie.jp/> から印刷し、

[0952-36-6895](mailto:0952-36-6895) までファックスください。【☎0952-36-6865】

## ■日本カーシェアリング協会 佐賀支部が開設されています

佐賀県は、地域活性化を目的に、各分野で活躍するCSO（市民社会組織）を誘致しています。令和2年から一般社団法人日本カーシェアリング協会の佐賀支部が、武雄市東川登町に誘致されました。熊本豪雨では多くの車両を被災地支援のために貸し出しています。石巻の被災地支援から生まれた、コミュニティーカーシェアリングは、いま地域の高齢者の足として全国に広がっています。さが移動ネットも応援していきます。

## ■DVD 住民主体の移動・外出支援って何？

DVD「～地域にあるクルマと人で行く支え合いのしくみ～住民主体の移動・外出支援って何？」がNPO法人全国移動サービスネットワークから好評発売中です。住民による登録や許可を要しない運送の実践が収録されています。

## ■佐賀県の福祉有償運送団体

令和2年6月1日時点で、34団体となっています。県内でも地域によっては移動サービスを実施できるところが不足しています。社会貢献の一つ、サービスの一環として、是非参画下さい。福祉有償運送を実施したい団体様は相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。

[http://www.pref.saga.lg.jp/ki\\_ji0031144/3\\_1144\\_25454\\_up\\_036ena15.pdf](http://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji0031144/3_1144_25454_up_036ena15.pdf) (佐賀県HPより)

## ■佐賀県の国土交通大臣認定福祉有償運送講習団体

1 さが福祉移動サービス・ネットワーク（通常講習年間4回開催）

講習内容 福祉有償運送・セダン型講習

2 NPO 法人市民生活支援センターふくしの家（臨時講習のみ）

上記、2団体が認定を受けています。通常講習以外にご依頼がある場合は、ご相談ください。

.....

【配信元】

## 佐賀県地域共生ステーション連絡会

佐地共連ホームページ <http://sachikyouden.com>

## さが福祉移動サービス・ネットワーク

住所

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3番20号（鍋島シエストハーモニビル3F）

NPO法人市民生活支援センターふくしの家事務局内

TEL：0952-36-6865 FAX：0952-36-6895

メール：[fukusinoie@world.ocn.ne.jp](mailto:fukusinoie@world.ocn.ne.jp)

※このMMニュースは、関係行政機関にも配信しています。